

2021年度 シラバス

科目名	美容実習 ワインディング	区分	必修	授業時数	85時間	対象学年	1年
担当教員	池之上 大野 清水 治村 中西 吉川	実務経験	有				
学修内容	美容師は、施術をお客様に提供する職業である為、実践例の分野は非常に重要になってくる。それらの分野について詳しく学んでいき、美容師の基礎ともいえるワインディングを理解し、実務においても役立てられるよう豊富な知識を身につけていく。						
到達目標	美容師国家試験合格および前後実技記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心として行う。注意事項を板書し、理解度を上げていく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。国家試験に向け衛生面、合格基準の説明、板書を行う。						
成績評価の方法と基準	前後期各1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	試験とは別にチェックテストを行い不合格者は放課後補習を行う						
実務経験に基づく授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書 技術理論1・美容実習1 (公益社団法人 日本理容美容教育センター)、ワインディング用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						

各コマにおける授業計画

回	主 題	授 業 内 容	備 考	
第1回	ワインディングを始めるにあたって	ワインディングに使う美容用語 机上設置と用具の説明・ウィッグの手入れ方法		
第2回	道具の使い方	コームの名称、持ち方、パートの取り方、 ブロッキングの説明		
第3回	ブロッキング	正中線をまっすぐ、狭く、広くとる練習		
第4回		センターブロッキングをとる		
第5回	上巻き	ブロッキング、センター、1~4ブロッキングを取る		
第6回		ロッドとペーパーで上巻き練習・デモンストレーション		
第7回				
第8回	下巻き	デモンストレーション、下巻き実践		
第9回				
第10回	センター	センターを平行に巻けるように練習		
第11回				
第12回	バックサイド	バックサイド巻き方説明・デモンストレーション		
第13回		左右バックサイド実践		
第14回	サイド	サイド巻き方説明・デモンストレーション		
第15回		実践		
第16回	バックサイド サイド	バックサイド・サイドの練習		
第17回				
第18回	タイム計測			
第19回				
第20回				
第21回		達成度を見ながらタイム計測		
第22回				
第23回	下巻き・上巻きチェック	巻き方のチェック		
第24回				
第25回	タイム計測	達成度を見ながらタイム計測		
第26回				
第27回				
第28回				
第29回	チェックテスト	ブロッキング5分		
第30回		ワインディング35分チェックテスト		
第31回	タイム計測			
第32回				
第33回				
第34回				
第35回				
第36回		達成度を見ながらタイム計測		
第37回				
第38回				
第39回				
第40回				
第41回		基本の見直し	スライスに対して並行・ベースに収める	
第42回			面・シェープの見直し	

2021年度 シラバス

科目名	美容実習 ワインディング	区分	必修	授業時数	85時間	対象学年	1年
担当教員	池之上 大野 清水 治村 中西 吉川	実務経験	有				
学修内容	美容師は、施術をお客様に提供する職業である為、実践例の分野は非常に重要になってくる。それらの分野について詳しく学んでいき、美容師の基礎ともいえるワインディングを理解し、実務においても役立てられるよう豊富な知識を身につけていく。						
到達目標	美容師国家試験合格および前後実技記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心として行う。注意事項を板書し、理解度を上げていく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。国家試験に向け衛生面、合格基準の説明、板書を行う。						
成績評価の方法と基準	前後期各1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	試験とは別にチェックテストを行い不合格者は放課後補習を行う						
実務経験に基づく授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書 技術理論1・美容実習1 (公益社団法人 日本理容美容教育センター)、ワインディング用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						

各コマにおける授業計画

回	主 題	授 業 内 容	備 考
第43回	基本の見直し	スライスに対して並行・ベースに収める面・シェープの見直し	
第44回			
第45回	前期試験に向けて	オールバックから巻けるように練習	
第46回			
第47回			
第48回	基本の見直し	オールパーパス見直し	
第49回			
第50回			
第51回			
第52回	新課題	使用ロッド・ブロッキング説明	
第53回			
第54回			
第55回			
第56回			
第57回	新課題 (ブロッキング別)	ブロッキング・スライス・オンベース部分・オフベース部分・スライス線・ステム確認・オンベース強化・ 【理論の理解】説明・確認・強化	
第58回			
第59回			
第60回			
第61回			
第62回			
第63回			
第64回			
第65回	新課題 (12ブロッキング)	全頭巻き・スライス線・ステム確認・バランス強化	
第66回			
第67回			
第68回	新課題 (4ブロッキング)	全頭巻き・スライス線・ステム確認・バランス強化・ ブロッキング強化・タイム意識	
第69回			
第70回	新課題 (4ブロッキング)	チェックテスト	
第71回			
第72回	総復習	総復習	
第73回			
第74回			
第75回			
第76回			
第77回			
第78回			
第79回			
第80回			
第81回			
第82回			
第83回			
第84回	後期試験	新課題25分	
第85回			

## 2021年度 シラバス

科目名	美容実習 ワインディング	区分	必修	授業時数	140時間	対象学年	2年
担当教員	阿部 奥田 尾崎 鷺見 藤田 藤本	実務経験	有			コース	全コース
学修内容	美容師は、施術をお客様に提供する職業である為、実践例の分野は非常に重要になってくる。それらの分野について詳しく学んでいき、美容師の基礎ともいえるワインディングを理解し、実務においても役立てられるよう豊富な知識を身につけていく。						
到達目標	美容師国家試験合格および前後実技記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心として行う。注意事項を板書し、理解度を上げていく。学生の理解度を確認しながら進捗を決めていく。国家試験に向け衛生面、合格基準の説明、板書を行う。						
成績評価の方法と基準	前後期各1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	試験とは別にチェックテストを行い不合格者は放課後補習を行う						
実務経験に基づく授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書 技術理論1・美容実習1 (公益社団法人 日本理容美容教育センター)、ワインディング用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						

### 各コマにおける授業計画

回	主 題	授 業 内 容	備 考
第1回			初回授業チェックテスト (20分)
第2回			
第3回			
第4回			
第5回	配列 シェーブ ステムの確認、強化 センターの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最初授業チェックテスト (20分)</li> <li>・ ブロッキング、スライス線などの確認と練習</li> <li>・ センターのロッドの位置 (正中線)、水平の確認と練習</li> <li>・ センターのスライス線、ステムの角度の確認と練習</li> <li>・ ブロック毎、全頭のタイム取り など</li> </ul>	
第6回			
第7回			
第8回			
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回	全体のバランス強化 バックサイドの強化 全頭タイム20分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ センターとバックサイドのロッドのつながり及び配列の確認と強化</li> <li>・ 左右のシンメトリー</li> <li>・ バックサイドのラウンド</li> <li>・ O×採点の審査項目確認</li> </ul>	
第14回			
第15回			
第16回			
第17回			
第18回			
第19回			
第20回	全体のバランス強化 バックサイドの強化 全頭タイム20分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ センターとバックサイドのロッドのつながり及び配列の確認と強化</li> <li>・ 左右のシンメトリー</li> <li>・ バックサイドのラウンド</li> <li>・ O×採点の審査項目確認</li> </ul>	
第21回			
第22回			
第23回			
第24回			
第25回			
第26回			
第27回			
第28回			
第29回	シェーブ ステムの強化 フロントの強化 全頭タイム18分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ チェックテストに向けての練習</li> <li>・ チェックテストにて技術レベルの確認と底上げ</li> </ul>	
第30回			
第31回			
第32回			
第33回			
第34回			
第35回			
第36回			
第37回			
第38回	シェーブ ステムの強化 フロントの強化 全頭タイム18分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ストランドのシェーブ</li> <li>・ 毛髪の重なり、ゆるみ</li> <li>・ 毛先の処理</li> </ul>	
第39回			
第40回			
第41回			
第42回			
第43回			
第44回			
第45回			
第46回			

## 2021年度 シラバス

科目名	美容実習 ワインディング	区分	必修	授業時数	140時間	対象学年	2年
担当教員	阿部 奥田 尾崎 鷺見 藤田 藤本	実務経験	有			コース	全コース
学修内容	美容師は、施術をお客様に提供する職業である為、実践例の分野は非常に重要になってくる。それらの分野について詳しく学んでいき、美容師の基礎ともいえるワインディングを理解し、実務においても役立てられるよう豊富な知識を身につけていく。						
到達目標	美容師国家試験合格および前後実技記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心として行う。注意事項を板書し、理解度を上げていく。学生の理解度を確認しながら進捗を決めていく。国家試験に向け衛生面、合格基準の説明、板書を行う。						
成績評価の方法と基準	前後期各1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	試験とは別にチェックテストを行い不合格者は放課後補習を行う						
実務経験に基づく授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書 技術理論1・美容実習1 (公益社団法人 日本理容美容教育センター)、ワインディング用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第47回	配列 シンメトリー強化 ラバーのかけ方強化 全頭タイム20分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バックサイド・サイドのシンメトリー</li> <li>・スライス線のゆがみ</li> </ul> <p style="text-align: center;">《ラバーのかけかた》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロッドの中央に平行にかける</li> </ul>					
第48回							
第49回							
第50回							
第51回							
第52回							
第53回							
第54回	国家試験採点基準を元に レベルアップ 全頭19分	<p style="text-align: center;">《採点基準》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロッドのつながりと配列</li> <li>・ステムの角度と方向性</li> <li>・シェーブ</li> <li>・シンメトリー</li> </ul>					
第55回							
第56回							
第57回							
第58回							
第59回							
第60回							
第61回	国家試験採点基準を元に レベルアップ 全頭19分	<p style="text-align: center;">《採点基準》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロッドのつながりと配列</li> <li>・ステムの角度と方向性</li> <li>・シェーブ</li> <li>・シンメトリー</li> </ul>					
第62回							
第63回							
第64回							
第65回							
第66回							
第67回							
第68回	国家試験採点基準を元に レベルアップ 全頭タイム18分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムアップ (時間に余裕をつくる)</li> <li>・前期試験にむけてレベルアップ</li> </ul> <p style="text-align: center;">《採点基準》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロッドのつながりと配列</li> <li>・ステムの角度と方向性</li> <li>・シェーブ</li> <li>・シンメトリー</li> </ul> <p style="text-align: center;">・○×採点項目確認</p>					※前期試験20分
第69回							
第70回							
第71回							
第72回							
第73回							
第74回							
第75回							
第76回							
第77回							
第78回							
第79回							
第80回							
第81回							
第82回							
第83回							
第84回							
第85回							
第86回							
第87回							

## 2021年度 シラバス

科目名	美容実習 ワインディング	区分	必修	授業時数	140時間	対象学年	2年
担当教員	阿部 奥田 尾崎 鷺見 藤田 藤本	実務経験	有			コース	全コース
学修内容	美容師は、施術をお客様に提供する職業である為、実践例の分野は非常に重要になってくる。それらの分野について詳しく学んでいき、美容師の基礎ともいえるワインディングを理解し、実務においても役立てられるよう豊富な知識を身につけていく。						
到達目標	美容師国家試験合格および前後実技記試験で60点以上必達						
授業の方法	授業は、実技を中心として行う。注意事項を板書し、理解度を上げていく。学生の理解度を確認しながら進捗を決めていく。国家試験に向け衛生面、合格基準の説明、板書を行う。						
成績評価の方法と基準	前後期各1回の実技試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	試験とは別にチェックテストを行い不合格者は放課後補習を行う						
実務経験に基づく授業内容	美容師として、実務を行う中で卒業直後より実践で発揮できるよう教育していく						
使用教材	教科書 技術理論1・美容実習1 (公益社団法人 日本理容美容教育センター)、ワインディング用具一式						
履修に当たっての留意点	特になし						

### 各コマにおける授業計画

回	主 題	授 業 内 容	備 考
第88回			
第89回			
第90回			
第91回			
第92回			
第93回			
第94回			
第95回			
第96回			
第97回			
第98回			
第99回			
第100回			
第101回			
第102回			
第103回			
第104回			
第105回			
第106回			
第107回			
第108回		<<採点基準>> ・ロッドのつながりと配列 ・ステムの角度と方向性 ・シェーブ ・シンメトリ	
第109回			
第110回			
第111回			
第112回			
第113回			
第114回			
第115回			
第116回			
第117回			
第118回			
第119回			
第120回			
第121回			
第122回			
第123回			
第124回			
第125回			
第126回			
第127回			
第128回			
第129回			
第130回			
第131回			
第132回			
第133回			
第134回			
第135回			
第136回			
第137回			
第138回			
第139回			
第140回			